

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013～2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

●本日

「地区大会報告」

会員誕生日

10月31日 中出 敏彦
11月4日 燕 美雪

配偶者誕生日

10月31日 大嶋 裕子
11月1日 明澤 裕子

●次週予定

結婚記念日

10月31日 田中 公一

No. 2578
第15回 10月20日
No. 2579
第16回 10月30日

出席報告

前例会

会員総数……………39名
出免会員……………8名
出免出席……………6名
基準会員出席……………23名
出席率……………78.37%

前々会

第13回 10月9日

欠席会員……………13名
内メイクアップ……………5名
修正出席率……………80.55%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告 ……………

- 10月20日(日)江別市にて地区大会が開催されます。参加される皆様よろしくお願ひします。
- 札幌ロータリークラブより、富原パストガバナーが昭和45年に内閣記者会誌として憲法審議を担当されたおり、その時の記録をまとめた「日本国憲法制定誌」を発行されましたので、多くのロータリアンにお読み戴きたいと富原パストガバナーより寄贈戴きました。

📁 幹事報告 ……………

- 国際ロータリー第2510地区2014-2015年度ガバナー事務所(エレクト)開設のお知らせが届いております。

- 羽幌ロータリークラブより10月例会案内及び会報No.1651～1654号を受領しました。
- 妹背牛ロータリークラブより10月例会案内及び会報第8～11号を受領しました。
- 赤平ロータリークラブより11月例会案内及び会報No.2559～2562号を受領しました。
- おもいやり育英会より支援要請が届いておりますので回覧します。よろしくお願ひします。

👤 委員会報告 ……………

国際奉仕委員会

燕委員長

米山記念奨学会への寄付とロータリー財団の寄付を現在皆様にお願ひしておりますが、今月末にて終了いたします。まだ寄付がお済でない会員さんは、よろしくお願ひします。

例会運営委員会

齋藤 委員

皆様には既にFAXにて送信済みですが、今週末に開催される地区大会に、バスを利用される方のお名前を掲載いたしました。バスを利用しなくなった方や、バスを利用したい方がおりましたら、早めに例会運営委員会までお知らせ下さい。なお後日、最終のバス運行表を再度FAXさせていただきます。当日は9時点鐘となっておりますので、出発は6時30分ころとなっております。よろしくお祈りいたします。

3分間情報

会員研修委員会

鶴城 委員

本日の3分間情報は、江別市にて地区大会が開催されますが、その主宰者である安孫子ガバナーについてもっと知りたいとの考えで、色々調べてまいりました。しばしお耳をお貸し下さい。

安孫子ガバナーは1943年生まれで、先月の28日で満70歳になられました。出身校は千葉工業大学で、工業経営学科卒でございます。職業分類は「製粉」で、皆様ご存知の様に江別製粉株式会社代表取締役社長をなされております。

江別製粉は、パンやお菓子・麺などに使用する小麦粉を製粉する会社ですが、ホームページの会社概要によりますと、1日あたり216トン製造し、売上高は年商35億円となっております。現在は息子さんの安雄氏が専務として、多忙な父のガバナー職を支えております。また、安孫子ガバナーは、収穫量が少なく、幻の小麦と言われた「ハルユタカ」の栽培を江別の生産者に働きかけ、普及に尽力された人物として知られておりますし、江別商工会議所の会頭としても活躍されております。

また、どの様な趣味をお持ちかと色々調べてみますと、「上達しないゴルフと冬はスキー」と探り当てましたが、定かでは無い事をご了承下さい。さて、ロータリークラブへは、1986年に江別ロータリークラブへ入会されております。1994～1995年度に幹事、2001～2002年度に会長を務められております。さらには2007～2008

年度にガバナー補佐をへて、今年度2013～2014年度のガバナーに就任されました。

安孫子ガバナーの会員としての強調項目は既に皆様ご存知ですが、「ロータリーの基本を見つめ変革するロータリーを実践しよう」と「RIテーマ〈ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を〉の理解を深め、クラブと地域、そして世界で活躍するロータリアンになろう」の二項目を掲げられておられますが、今回の地区大会において、詳しいお話を聴くことが出来ると期待しております。

以上僭越ながら、3分間情報で安孫子ガバナーについてのお話をさせていただきました。最後に一言、今回の3分間情報で一番多くの情報を得たのが私の私でございました。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

- お久しぶりです。私は元気です。 高橋会員
- 留萌高等学校創立90周年記念式典を挙げる事が出来ました。 二ノ宮会員
- 3分間情報デビュー致します。 鶴城会員

前 回	350,000円
今 回	17,000円
累 計	367,000円

プログラム

「留萌市の防災」

留萌市総務部総務課長 遠藤 秀信 様

本日は留萌市の防災対策についてお話をする機会をいただき、誠にありがとうございます。

本日は、皆様のお手元に配布したレジメを利用してお話を進めてまいりますが、この資料はお茶の間トークや町内会の説明会で使用している物と同じものでございます。防災について考えさせられた一番の原因は、皆様もご存知の通り平成23年3月11日に発生した東日本大震災でございます。今も行方不明になっている方もたくさんいらっしゃいます。それにより防災対策

の強化が叫ばれ、自助・共助の意識向上が求められております。そこで、改めて6点ほど情報提供をさせていただきます。

まず1点目でございますが、避難所の確保でございます。留萌市では現在、市内に45箇所の避難所を確保しております。これは昭和56年新耐震基準をクリアした建物で、コミュニティセンター・公民館・学校などがあります。この避難所は浸水の危険性が低い事は当然ですが、地区別分布と災害種別（地震・津波・洪水・土砂など）によっても開設する施設が違います。避難所の機能と条件ですが、救援・救助活動を実施する事ができる。給水・給食等の救援活動が出来る。耐震性・耐水性及び耐火性に優れている。津波・浸水等による被害の恐れが少ない。被災者が避難し、生活する上で適当と認める施設。また、東日本大震災での避難所開設状況に於きまして、女性の目線からの避難所運営など配慮を求める指針が総務省より出ておりますので、留萌市においても今後、留萌市防災会議への参画を促進して、その意見から防災計画に反映させていこうと考えております。

次に2点目ですが、津波が襲ったときの避難について書いております。津波が発生し沿岸部まで押し寄せるのには、ある程度のタイムラグがございます。その間に安全な場所に避難する事が重要でございますが、津波避難の基本は、「津波より高い所に逃げる」で、海拔+建物の高さ=安全の目安(10m以上)となっております。海拔の低い地区では耐震性のある建物を指定し、津波避難ビルとして看板にて表示しており、市内に13箇所の施設があります。これは公共施設を重点的に取り込んでおり、元町の市営住宅や錦町公営住宅・留萌合同庁舎・五十嵐町市営住宅・公務員宿舍などで、階段や踊り場・廊下・エレベーターホール等の共用部分を避難スペースとしています。今年度はさらに拡大しようという事で、民間のビルを調査して耐震性なども調べ、この津波避難ビルの指定を拡大していきたいと思っております。

次に沿岸部の避難対策ですが、市が実施している事は沿岸部には5町内会があり、避難路を



選定し、高台を避難所とする整備を行なっている所でございます。費用の一部として、ロープや鉄杭などの一部を支援しているところでございます。ただし、管理については市では管理出来ないことがありますので、町内会にて日頃より維持管理を実施しているところでございます。ただ、沿岸部の避難対策で障害と言いますか課題となる事がありまして、これは避難所への誘導でJRの線路敷地を跨ぐ形になり、これらについて現在話を進めているところでございます。

避難については徒歩にて避難する事が第一でございますが、町内会で指定している避難場所の確認と、実際歩いてみて確認することが重要となりますので、これは町内会の自主防災活動として実施しているところでございます。避難可能なエリアの条件ですが、推定津波到達時間が20分と言われておりますので、その時間までに徒歩にて標高20m地点まで避難できる事が第一の条件となっております。

防災に関しての市民理解として留萌市では今年の2月に防災ガイドマップを作成し、全世帯に配布し、コンビニにも設置。転入者には市民課にて配布しているところでございます。掲載情報と致しましては、津波浸水予測図や洪水予測図・土砂災害警戒区域・市内の海拔情報・避難所や避難場所・沿岸の避難路・津波避難ビルなどの情報を掲載し、風水害・土砂災害・地震・火災に備えた準備や対応が掲載されております。

なお、津波の情報が平成21年度の北海道のデータに基づいて作成されておりますが、平成23年3月に起こった東日本大震災で、北海道ではこのデータの見直し作業が行なわれている所

第14回 10月16日(水) 天候/雨

でございます、道東などで地震が起こった場合に留萌にどれ位の津波が来るか等についてのデータが届いておりませんので、災害に関して新たなデータなどが表示された場合には改訂する予定でございます。それと、皆様も目にした事があるかと思いますが、海拔の高さが電柱に表示されており、これについては市内に200箇所の表示プレートがあります。

5点目として書かれている市民への情報伝達についてですが、災害などの市民周知方法として、市内26箇所に設置されている防災無線・防災協定により地域エフエム放送局の活用、災害情報のメールサービスで携帯通信事業者3社のエリアメール、緊急速報メールの利用。市・消防の広報車での情報提供があります。町内会であらかじめ登録していただいた防災連絡員に情報を届ける事になっており、その連絡員から町内会の皆さんに連絡が届く事になっております。その下に書かれております災害弱者への対応ですが、災害時要援護者支援プランの策定ということで新聞等の報道記事になっておりますが、これは災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者・障害を持つ方など）を地域の協力で安全な場所へ避難介助するという内容のプランでございます。この目的は災害時における要援護者支援の適切かつ円滑な実施ですが、この中身について言うと、対象者ひとりひとりの支援プランを作成するといった内容でございます。対象者は市内に約4000人ほどおりますが、介護からの情報とその他の75歳以上という年齢からの情報で、少し重複しているところがありますので、現在調査修正中でございます。自助・共助を基本とした情報伝達と避難支援体制。対象者ひとりひとりの支援プランを作成となっておりますが、今年度はこれが重点取り組み事項となっております。

10月15日現在、モデル地区を2地区選定しまして、これは浜中地区と千鳥町の自由が丘振興会でございますが、対象者が52名おまして、まずは同意書を送付しまして同意を得た方の支援プランを作成するといった内容になっております。この52名の方への同意書の返信が市の方

へ戻ってきたのが23通、44.2%の返信率で、うち個人プランを作成しても良いと同意をした方が13名で、52名中と言えば25%の方から同意をいただきました。残りの方は同意をしないという結果になりました。これにつきましては、個人情報を知られるのが嫌だという方や、他に助けてくれる人がいるという結果でしたが、市と致しましては個人の避難プランを作成したいとの思いもございますので、この方達にも機会あるごとに同意を得るようお話をさせていただいております。

今年度災害対策基本法が改正されまして、この方たちの名簿の作成・保管・保有と他関係機関への情報提供というものも網羅されており、これに基づいて実施しているところでございます。モデル地区での選定した方たちの理解度は低い状態でしたので、市内全域に拡大すると、今以上に同意した方の率が下がってしまうようなので、あらかじめ各町内会にお願いする形で説明会を実施して、その後のこの名簿の作成に掛かりたいと思っております。これにつきましては平成26年度の4月からすぐに掛かる予定です。

次のページはガイドマップにも載せておりますが、自助・共助ということで企画した内容でございます。皆さん既に分かっている事ですが、自分の生命は自分で守ることが災害時の大原則でございます。家の中では、家具の転倒防止や額縁の落下防止、茶だんすの引き出しや扉の飛び出し、テレビなどが倒れてきて亡くなった方もおりますので、事前に危険を排除しておく事が大切で、地域でも普段歩いている所の安全確認が必要になってきます。街中ですと看板の落下、自動販売機の転倒などもありますので、あらかじめ危険な所を知っておく事が大切です。あとは、家族の決め事としてもし災害があった場合の連絡方法や集合場所を決めておく事や防災カード（住所・氏名・血液型）を持ち歩くことも大切です。緊急連絡先なども一緒だとなお良いと思います。それと災害があった場合の非常持ち出し品として、貴重品・衣類・非常食・医薬品、その他とありますが、必要最低

限の物で良いと思います。災害時の避難にあたっては、長期になりますと防災協定により生活用品等の配布等もございますので、非常持ち出し品は最短、最低限の物にさせていただければと思います。ただ、ライフラインとして水だけは各家庭で用意をしていただければと思っております。日頃服用している薬についても必ず持ち出せるように用意しておいて下さい。

次に共助と言う事で、地域の安心安全を守るように、自主防災組織で減災対策をしていただければと思います。平常時には防災訓練・意識啓発・要援護者把握(名簿整備)などで、災害時には情報伝達・救出・救助・避難誘導・支援・避難所運営などがあります。現在自主防災組織は、139町内会中45町内会にあり、防災連絡員は139町内会中134町内会に配置、269名が登録されております。災害時の連絡窓口として、またまだ自主防災組織が町内会に無い所があり、防災連絡員が中心となって自主防災組織の設置が求められております。しかし、あくまでも皆さんが出来る範囲の活動をする事が基本となります。防災組織はどんな事をするのかと言いましたが、別に町内会で防災時に担当する事を決めておいても良い事で、防災部と書いておりますが、その事柄を各町内会の総務部や会計部、交通安全部や青少年部、婦人部などに仕事を振り分けておいても良いと思います。

今、国や道、留萌市において防災の訓練が行なわれているところでございます。津波避難訓練は津波が発生したと仮定し、高台まで避難路を使って実際に避難場所まで避難してみるなど、炊き出し訓練では避難所が開設されたと仮定して、避難所までの避難と備蓄食料を使った炊き出しの実践でございます。最近では南町で実施して、炊き出しの試食を行ないました。それと土砂災害訓練ですが、土砂災害発生危険箇所に住む市民を対象に、土砂災害の発生又は予兆があるとして、避難所までの避難訓練でございます。留萌市においては対象となる地区がそんなにございませんが、千鳥町・南町・三泊・港町に少しございます。それらの地域に住んでいる方と北海道の方と一緒に訓練を進めています。

4つ目としてDIG訓練があります。これは図上イメージ訓練のことで、災害発生後の行動をゲーム感覚で組み立てる防災訓練で、地域の地図上で参加者が意見を出し合い、緊急の対応策や避難方法などを組み立てていくもので、子供も高齢者も参加可能でございます。

それと皆さんもご存知だと思いますが、市民防災運動会というものを開催しております。担架リレーやバケツリレー、土のう積み競争など、今年度では防災週間の8月の下旬から9月上旬の期間中に実施をしているところでございます。本来、訓練は本番と同じように予期せぬ時に実施することが望まれますが、やはりそれは不可能ですので、皆様にお知らせして実施しているのが現状です。

以上が留萌市における防災の取り組みでしたが、この他にも地域に向いて皆様に説明する出前トークも実施しています。

最後に留萌市の防災資器材の保有状況と、留萌市との防災協定を結んだものを書いております。自治体との協定のほか、防災関係機関との協定、民間事業者との協定やその他の応援支援が書いております。参考に目を通していただければと思います。本日はありがとうございました。

第15回 10月20日(日) 天候/曇

No. 2578	会員誕生日	結婚記念日
第15回 10月20日	10月20日 関野 政人	10月22日 行徳 幸治
●本日 移動例会「地区大会」		10月23日 鈴木 康伸 (銀婚式)

「国際ロータリー第2510地区年次大会」 於：江別市市民会館

9:30 登録受付開始	13:00 来賓祝辞	北海道知事 高橋はるみ様
9:00 開会の言葉	13:00 表彰	ガバナー 安孫子建夫
点 鐘	13:30 諸事お知らせ	大会 S A A 林 重樹
国際ロータリー第2510地区	13:50 記念講演	
ガバナー 安孫子建夫	「お金の世界」から「いのちの世界」へ	
国歌斉唱	福島県飯館村 村長 菅野 典雄様	
ロータリーソング「我らの生業」	15:15 謝 辞	ガバナー 安孫子建夫
ソングリーダー 増山 柳	15:20 直前ガバナー記念品贈呈	ガバナー 安孫子建夫
物故者追悼	15:25 ガバナーエレクト紹介	ガバナー 安孫子建夫
歓迎の言葉	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト 羽部 大仁
ホストクラブ会長 金田 一夫	ガバナーノミニー紹介	ガバナー 安孫子建夫
R I 会長代理・ご来賓・役員紹介	ガバナーノミニー挨拶	ガバナーノミニー 嵯峨 義輝
ガバナー 安孫子建夫	次期ホストクラブ紹介	ガバナー 安孫子建夫
ガバナー挨拶	次期ホストクラブ挨拶	札幌幌南 R C 会長 深貝 亨
R I 会長代理ご挨拶及び R I 現況報告	15:45 R I 会長代理所感	R I 会長代理 高 成大
R I 会長代理 高 成大	お礼の言葉	ガバナー 安孫子建夫
9:40 来賓祝辞	R I 会長代理へ記念品贈呈	ガバナー 安孫子建夫
9:45 第3700地区総裁挨拶	閉会の言葉	大会実行委員長 佐々木光治
第3700地区総裁 李 華榮	点 鐘	ガバナー 安孫子建夫
9:50 特別参加者紹介	諸事お知らせ	大会 S A A 林 重樹
9:55 参加クラブ紹介		
10:20 地区現況報告		
10:30 休 憩		
10:50 大会決議案上程		
大会決議委員長 佐々木正丞		
大会決議採決		
2012-2013年度決算報告		
前年度地区財務委員長 蚊野 好美		
2012-2013年度監査報告		
パストガバナー 熊澤 隆樹		
大会登録委員会報告		
大会登録委員長 細川 好弘		
大会信任状委員会報告		
大会信任状委員長 熊澤 隆樹		
大会選挙管理委員会報告		
大会選挙管理委員長 渡邊 恭久		
諸事お知らせ		
大会 S A A 林 重樹		
11:40 昼 食		



記念懇親会 於：江別市民体育館

17:00 開 会	司会 宮路 聖子	17:30 アトラクション
開会挨拶	ガバナー 安孫子建夫	18:20 閉会の挨拶
17:05 ゴルフ・囲碁表彰	ガバナー 安孫子建夫	ガバナーノミニー 嵯峨 義輝
17:10 乾 杯	ガバナーエレクト 羽部 大仁	ロータリーソング「手に手つないで」